



松戸市立総合医療センター

医療連携 News

第184号 (2022.9)

編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター
病院長 尾形 章

初秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

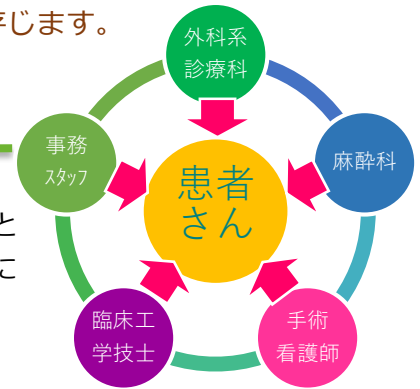
平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

医療機関の皆様方へ毎月お送りしております「医療連携News」を是非ご高覧いただき、また患者さんへ必要な情報を提供いただけましたら幸甚に存じます。



手術を支える職種

今年度、医療連携Newsは「手術」をテーマに作成しております。今月号では「手術を支える職種」をご紹介します。手術は執刀医と助手だけでは行えません。様々な職種の協力があるからこそ、患者さんに安全でやさしい手術を行うことができるのです。



【中央手術室部長よりご挨拶】



麻酔科 兼
中央手術室部長
北村 祐司 医師

松戸市立病院時代からの長い歴史を持つ当院の手術室部門ですが、松戸市立総合医療センターとなってスタートした手術室新体制も4年半が経過しました。新病院となった際、手術室は8室に拡大され、より安全な手術医療を提供するためのモニター機器などの設備が一新整備されています。新病院開院後も、血管造影室に手術室と同等の麻酔器・モニタリング機器を追加配備し、カテーテル検査・治療への手術室スタッフ、麻酔科医の業務拡大なども進めております。また、新たな手術設備としてダヴィンチが今年度導入となります。

当院は3次救急医療指定施設ですので、交通事故などによる外傷性疾患、急性腹痛、心血管・脳血管疾患、産科および小児救急を受け入れ、ほぼ毎日のように緊急手術が行われています。新生児から高齢者まで年齢を問わず幅広い外科系疾患に対応できることは、当院手術室部門の特徴であり、手術を受ける患者さんの安全と、手術医療における地域の医療連携に公立病院として貢献すべく、スタッフ一同、日々の健全運営に努めております。

【麻酔科・小児麻酔科について】

当院は日本麻酔科学会の認定施設であり、現在4名の常勤麻酔科専門医、1名の大学医局派遣の麻酔科専攻医に複数の外勤医を加えた体制で、年間3000件以上の麻酔管理を行っております。手術内容や患者さんの全身状態に合わせて、区域麻酔（神経ブロック・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔）を組み合わせた様々な麻酔管理が、成人小児を問わず対応可能となっています。区域麻酔に関しては、近年注目されている新しい神経ブロックも積極的に取り入れ、患者さんにより快適に術後を過ごしていただけるよう、鎮痛法を日々工夫しています。

また、当院は救命センターまでを持つ地域の中核病院であると同時に、JACHRI（日本小児総合医療施設協議会）認定を受けた小児医療センターを持つ数少ない市中総合病院です。旧病院時代より新生児手術、小児脳外科手術や小児心臓外科手術を含む特殊手術まで、様々な小児手術の麻酔管理が行えるのが当科の特徴です。この特徴を発展させるべく、2021年には小児医療センター内に「小児麻酔科」を新設し、小児患者さんの精神行動発達にも優しい麻酔医療を目指して活動しています。



2022年4月、当院を基幹施設とする麻酔科専門研修プログラムが始動して一期生専攻医1名を採用すると同時に、心臓血管麻酔専門医認定施設として新たに認定を受けました。

小児麻酔を苦手としない一般麻酔科医、

成人麻酔もきちんとできる小児麻酔科医

を育成する診療科ポリシーをもって、医師の育成教育にも貢献できるよう取り組んでおります。研修に関するお問い合わせ、見学を随時お待ちしております。



術前麻酔外来

麻酔科医と手術室看護師、事務スタッフが連携し、予定手術に関しては全面的に術前外来システムを導入しております。外来では、手術を予定あるいは検討中の患者さんの全身状態評価、麻酔方法の提案と説明、患者さんご自身やご家族からの麻酔に関する質問や不安にお応えしております。当院での手術麻酔管理を目的に他院からのご紹介をいただくケースもございますが、まずは当院外科系診療科を通してご相談ください。

【手術看護師について】



手術室看護師長
倉持 洋志看護師

当手術室には35名の看護師が在籍しております。当院では救命救急センターや周産期医療センターを擁しており、手術室は24時間体制で緊急手術に対応できる体制をとっております。

手術室のイメージは、一般的にネガティブな面を思い描かれる患者さんもらっしやるかと思えます。当手術室では専門的な技術を持つスタッフにより、

手術を受けられる患者さんの安全と、手術への不安に寄り添う看護を実践

しております。手術看護師の業務として、手術の介助を行うことは重要な業務の一つです。執刀医・麻酔科医やコメディカルと連携し、迅速かつ安全に目的の手術が達成できるよう尽力しております。

当院には13の外科系診療科があり、260以上の術式が有ります。これらの手術に対応すべく、系統的な教育プログラムを準備し、既存の術式だけでなく日々増えていく新しい治療・術式に対応できるよう、努力を重ねております。

手術を予定される患者さんには、まず入退院支援センターにおいて様々なオリエンテーションを受けていただきます。私達が行う術前外来もその一環として患者さんに問診を行い、より最適な環境で手術が受けられるようアセスメントを行います。また、麻酔に関するオリエンテーションビデオを活用し、患者さんの疑問を解消できるよう努めております。初めて手術を受けられる患者さんは、大きな不安を抱えて外来に来られる方も多く、その不安に寄り添い、軽減できるよう丁寧な説明を行っています。

手術室では随時スタッフ募集も行っており、経験の無い方でも短期間で習熟できるサポート態勢を取っております。私達の仲間となって頂ける方、お待ちしております。



【臨床工学技士と事務スタッフについて】



数多くある手術室医療機器は臨床工学技士によってメンテナンス管理され、手術室スタッフ同様、24時間体制で人工心肺・補助循環管理などの緊急処置に対応しております。

事務スタッフも現在5名が配属され、従来の外来受付業務に加え、診療記録面で患者さんの術前情報の整理から術後回診まで、周術期の麻酔科診療が支えられています。

麻酔科医のご紹介



國分 宙医師

麻酔科医長

専門分野

- ・麻酔一般
- ・心臓血管
麻酔



北村祐司医師

麻酔科兼中央
手術室部長

専門分野

- ・麻酔一般
- ・小児麻酔

*こどもにやさしい医療研究会
代表世話人



栃木知子医師

麻酔科医長

専門分野

- ・麻酔一般
- ・小児麻酔



原 貴子医師

麻酔科医長

専門分野

- ・麻酔一般
- ・小児麻酔



依田大樹医師

麻酔科医員

専門分野

- ・麻酔一般

呼吸器外科部長着任のご挨拶

*撮影時のみマスクを外し、細心の注意を払い撮影を行っております

この度、8月1日より呼吸器外科部長として赴任いたしました、星野英久と申します。私は1995年に金沢大学医学部を卒業後、千葉大学肺癌研究施設外科（現在の呼吸器病態外科学）教室に入局し、大学・関連病院にて肺がんの外科治療や気管支鏡診断を中心に診療を行ってまいりました。

「一人ひとりの患者さまにとって、何が最善なのか」を常に考えながら診療することを心がけております。

呼吸器内科および関連部署の方々と連携し、また地域の医療機関の皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りながら、地域の呼吸器診療に貢献できるよう努めてまいりたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



呼吸器外科部長
星野 英久医師

臨時休診等お知らせ (2022年8月24日現在)

9月 医師の休診			9月 医師の代診		
脳神経外科	田巻医師	6日(木)、7日(金)	小児科	30日(金)	南医師→篠塚医師
脳神経内科	吉澤医師	12日(月)	10月 医師の休診		
眼科	吉田医師	5日(月)、7日(水)、 8日(木)、9日(金)	耳鼻いんこう科	米田医師	6日(木)
	前原医師	14日(水)	整形外科	山縣医師	3日(月)、4日(火)、 11日(火)
泌尿器科	佐々木医師	14日(水)			
	南医師	26日(月)、27日(火)			